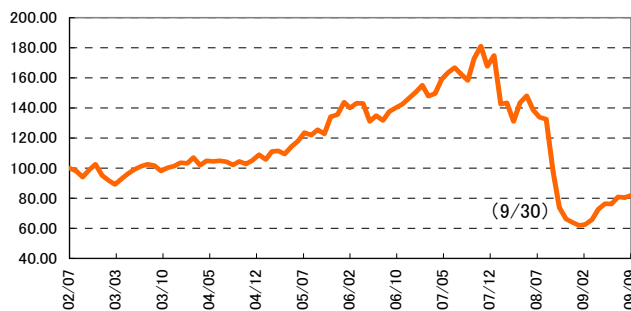


2009年9月末

グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	1.89%	7.71%	24.77%	▲16.70%	▲41.58%	▲21.63%	▲18.10%
グローバル株式型 ※保険関係費用 控除前	2.02%	8.12%	25.57%	▲15.10%	▲36.77%	▲13.62%	▲6.62%

特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金	54	0.5
預金		
投資	10,945	99.5
その他		
信託		
合計	10,999	100.0

グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

<基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	2.03%	8.17%	25.85%	▲15.46%	▲38.88%	▲11.07%
MSCI ワールドインデックス	0.07%	8.94%	30.41%	▲15.74%	▲37.40%	▲8.47%

*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

<株式組入上位10銘柄(銘柄数77)>

	銘柄	通貨	業種	比率
1	CISCO SYSTEMS INC	アメリカドル	通信	2.7%
2	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア	2.3%
3	BANK OF AMERICA CORP	アメリカドル	銀行	2.1%
4	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	スイスフラン	医薬品	1.9%
5	APPLE INC	アメリカドル	コンピューター	1.9%
6	AMGEN INC	アメリカドル	バイオテクノロジー	1.8%
7	BHP BILLITON PLC	イギリスポンド	鉱業	1.8%
8	SCHLUMBERGER LTD	アメリカドル	石油・ガス サービス	1.7%
9	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリスポンド	農業	1.7%
10	XSTRATA PLC	イギリスポンド	鉱業	1.7%

<株式組入上位5ヵ国>

1	アメリカ	50.7%
2	イギリス	10.3%
3	日本	6.8%
4	スイス	6.1%
5	ドイツ	4.4%

<資産構成比>

1	国内株式(先物含む)	6.7%
2	外国株式(先物含む)	89.2%
3	CB	0.0%
4	公社債	0.0%
5	現金その他	4.1%

<運用コメント>

米国市場は、小売売上高や鉱工業生産指数など主要経済指標の改善を受け、景気減速ペースが緩和しているとの見方が広がったことから、上昇基調をたどりまし。米食品大手の英同業大手に対する買収提案などに伴ない、M&A(合併・買収)の活発化期待が高まったことも支援材料となりました。下旬には、景気下支えを目的としたFRB(米国連邦準備制度理事会)の金融緩和継続姿勢を好感し、約1年ぶりの高値水準に迫る局面もありましたが、月末にかけては、住宅関連指標の下振れなどが嫌気され、やや軟化しました。欧州市場は、米国に追随したほか、各業界でのM&Aの動きなどが好材料となり、月半ばにかけて大幅に上昇しました。下旬には、高値警戒感から利益確定の売りが出た一方、引き続きM&A観測が相場を下支えし、一進一退で推移しました。

このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、一般消費財・サービスセクターの銘柄などを積み増した一方、ヘルスケアセクターの銘柄などを一部売却しました。一般消費財・サービスセクターでは、アパレル専門小売業者を新規に組み入れました。同社は、景気後退局面を脱しつつある環境下、一段の収益成長が期待でき、また欧州進出により海外市場での堅実な成長も見込まれます。一方、ヘルスケアセクターでは、米国大手医療保険会社を全株売却しました。

9月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは情報技術、一般消費財・サービス、対してアンダーウェイトとしているのは金融、公益事業です。

今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項ー大切なことから」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。